

病院における激突され災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	10～11	訪問看護施設（助手席1名同乗）訪問に出るため、駐車場から右方向に車道に出ようと停車し、交通量が多いためタイミングをみていた時、バックしてきた車が左後に追突した。その際、当方の左後のバンパーがずれて浮いた。	46～	1000 9999
1	11～12	病棟ナースステーションで患者見守り中、「トイレ、トイレ」という訴えがあり、興奮している様子もあったので、車椅子トイレへ連れて行った。認知症があり、指示動作が入りづらかった為に、便座に座る前にズボンと下着を下げるよう話すが、そのまま便座に座ろうとした為、ズボンと下着を下げようと介助したところ、患者が左手で腹部を力強く殴るように拳で叩いた。	33～	500 999
1	18～19	精神科保護室にて、患者に食事を職員2名で持っていき対応しようとした際、現認者が扉を開けたとき患者が飛びだしてきて、襲いかかってきた。その際、被災者が制止しようとしたが押さえられず、患者に片手で投げとばされ、肋骨を負傷した。当初、痛みがあるものの我慢していたが、症状が悪化した。	66～	100 299
3	17～18	施設内において、夕食介助業務に従事していた際、利用者へ薬の入ったコップを配っていたとき、近くにいた別の利用者（リクライニング車椅子に横たわっていた）が突然起き上がり、車椅子から降りようとした為、コップを持ったまま支えようと右手を伸ばすも支えきれず、右側臥位で転倒し、被災者の左足の上に利用者がもつれるように倒れ、左膝を骨折した。	46～	500 999
3	17～18	厨房室からB棟1階の入口付近で、5病棟それぞれの担当者が夕食の配膳車をエレベーターまで運ぶ為の移動中、自分の順番が来たので軽い傾斜の所を通過して平坦な所で押し始めたら、前方が詰まったので止まったところ、後ろの担当者がそのまま押し続けて来たため配膳車と配膳車の間に挟まれ、左足首と左下腿部を打撲し	58～	100 299

		た。		
4	4~5	病院での夜間勤務中、車椅子利用者トイレからナースコールがあったのでトイレまで駆けつけドアを開け、中に入ろうとしたところ突然患者様が車椅子をバックさせてきたため、車椅子に体がぶつかり、バランスを崩し転倒し、右手首に疼痛と腫脹が生じた。	59	100 ~ 299
5	9~10	当院3階病棟にて、普段から暴力行為がある統合失調症の71歳女性患者を入浴のため、ベッドのまま入浴室まで移動した。患者の左側に立ち右袖の病衣を外し、左側を向かせようと手前に引き寄せた途端、患者が右手で被災者の右脇腹を3回程たたき、疼痛が発生した。疼痛が軽減したため自宅で様子を見ていたが、しばらくしても疼痛が治まらなかった。	49	100 ~ 299
5	8~9	被災者は、中型バイク（250cc）で通勤中、病院の敷地内にある駐車場にバイクを停めて降りた際にスタンドがうまく出ていたなかった為、倒れてきたバイクに右下肢が当たり、バイクの重みに耐え切れず尻もちをついた。バイクを起こそうとした際も臀部・腰・右脇腹に痛みが走り、勤務不能となった。	66	100 ~ 299
6	15~16	研修先の施設内で、折りたたみテーブルを折りたたんだ状態で移動させる際、テーブルが倒れて、左足先を強打した。	38	100 ~ 299
6	14~15	3病棟ホールにて、興奮状態の男性患者が歩行器で突進してきたため、両手で歩行器を止めたところ、左顔面を殴打され、おそらく数秒程意識を失った。左顔面は腫れたが、クーリングにて当日中には改善するも、翌日、殴打されたのとは反対の右側の頭痛、右上半身痛が起こり、痛み止めを内服し様子を見ていたが改善せず、骨折と判明した。	42	100 ~ 299
7	16~17	隔離室を巡視中、患者が水分を要求したため隔離室のドアを開け、コップを渡そうとしたところ引き倒され、頭部を床に叩きつけられたり、顔を引っかかれるなどした。病院を受診したところ、頭部打撲の診断を受けた。	31	300 ~ 499
9	20~	精神科急性期高齢者病棟にて、夜勤勤務をしていた、男性患者様が廊下でドアたたきをはじめられた為、制止しようと声掛けしたところ突然胸ぐらをつかみ殴りかかって来られたので、患者様のこぶしを両手でつかみ落ちつかせようとした	30	300 ~

	21	が、抵抗激しく引き続きこぶしを離さず制止対応していると右手首に痛みを感じ、その後も痛みは続いた。		499
10	13～ 14	検温のため、ベッドで寝ている患者の足元から近付いた際、患者に右手の甲を蹴られた。	70	100 ～ 299
10	11～ 12	病室にて患者様の検温をするため体温計を挟む援助をしようとした際、患者様が突然暴れ出し右腰を蹴られ、勢いでそのまま転倒した。	56	100 ～ 299
10	11～ 12	病院で祭りがあり、患者様を迎えに行き帰る時、他のゲームのとなりを通った。4～5人の車イスの方の前方にカートがあり、引き返そうとしている方や前進している方で立ち往生した。前方のカートを動かそうと前に出た時、車イスのタイヤが右足の甲の上に乗った。	50	300 ～ 499
11	11～ 12	南病棟廊下で尿測に行こうと廊下を歩行中、前を歩いていた看護師が急に振り向き、ぶつかり被災者だけが転倒した。	56	100 ～ 299
11	11～ 12	2F、2B病棟清掃用具用ロッカーに、使用済みモップを片付けていたところ、立て掛けたはずのモップが倒れて来て、右目に当たった。	52	100 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html